

# 調査・研修等計画届出書

令和 6 年 10 月 7 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 颯田季央

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

|                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                 |         |
|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 期 日                                                | 令和 6 年 10 月 8 日から 10 月 10 日まで(2泊3日)                                                                                                                                                                                                                             |         |
| 調査先・研修名                                            | 1. 奥州市伝統産業会館「奥州南部鉄器」(10/8)<br>2. 第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡<br>(10/9-10/10)<br>3. 八幡平市安比高原インバウンド誘致視察 (10/10)                                                                                                                                                   |         |
| 会場名(会場所在地)                                         | 1. 奥州市伝統産業会館<br>2. トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)<br>3. ANA インターコンチネンタルホテル・ハロウインターナ<br>ショナルスクール安比ジャパン                                                                                                                                                                   |         |
| 調査・研修の目的<br>(今回の調査・研修に係<br>る瀬戸市・自己の現状と<br>課題を踏まえて) | ・伝統産業である鋳物の製造工程および関連施設を視察する<br>ことで、瀬戸焼産業へ活かすことができる<br>・第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム<br>基調講演(ビデオメッセージ)<br>「人口減少社会における地域の未来図」<br>パネルディスカッション<br>「地方議会の課題と主権者教育」<br>「主権者教育の取組報告」<br>・「国際芸術祭あいち 2025」の開催を見据え、一過性のイベ<br>ントではなく、本市に観光客を呼ぶ戦略の一つとして、「八<br>幡平市 安比高原インバウンド誘致」を視察 |         |
| 議長名の依頼                                             | 要・ <input checked="" type="radio"/> 不要                                                                                                                                                                                                                          | 依頼先(名称) |
| 同行者名                                               | ・三木雪実・富田宗一・柴田利勝・宮藺伸仁<br>・高島淳・朝井賢次・山内精一郎・黒柳 知世                                                                                                                                                                                                                   |         |

※行程表を添付してください。

# 調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6 年 12 月 9 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 颯田 季央

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期 日                                        | 令和 6 年 10 月 8 日から 10 月 10 日まで（2泊3日）                                                                                                                                                                                                                    |
| 調査先・研修名                                    | 1. 奥州市伝統産業会館「奥州南部鉄器」（10/8）<br>2. 第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡（10/9-10/10）<br>3. 八幡平市安比高原インバウンド誘致視察（10/10）                                                                                                                                               |
| 会場名（会場所在地）                                 | 1. 奥州市伝統産業会館<br>2. トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）<br>3. ANA インターコンチネンタルホテル・ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン                                                                                                                                                              |
| 調査・研修の目的<br>（今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて） | ・ 伝統産業である鋳物の製造工程および関連施設を視察することで、瀬戸焼産業へ活かすことができる<br>・ 第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム<br>基調講演（ビデオメッセージ）<br>「人口減少社会における地域の未来図」<br>パネルディスカッション<br>「地方議会の課題と主権者教育」<br>「主権者教育の取組報告」<br>・ 「国際芸術祭あいち 2025」の開催を見据え、一過性のイベントではなく、本市に観光客を呼ぶ戦略の一つとして、「八幡平市 安比高原インバウンド誘致」を視察 |

10月8日 13:00～15:00

【奥州市伝統産業会館視察】

(訪問先および背景)

奥州市伝統産業会館では、奥州南部鉄器を中心に、鋳造物の歴史や製造工程、製品の展示が行われていた。この地域の鋳造文化は、平安時代後期(約930年前)に藤原氏が近江国や京都から鋳物師を招いたことに端を発した。当時から、鍋や仏具などの生活用品が鋳造され、これらの技術は長い歴史の中で継承・発展してきた。この地域では産業資源を活用しながら、現代のニーズに応じた鋳造物製品の開発が進められている。

(見学内容・説明)

鋳造製品の製造には高度な技術が必要であり、以下のような伝統的な工程を経て製品が完成する。

1. 型作り(型挽き)
2. 黒味塗り
3. 注湯準備
4. 注湯(湯入れ)

その製造工程は陶器の製作に似た要素も持ち、特に「型作り」や「焼成」といったプロセスにおいて共通点が見られた。

(歴史的・技術的意義)

奥州南部鉄器は、その精緻な技術と独特のデザインが評価され、国内外で高い人気を誇っている。これにより、鋳造物製品は実用性だけでなく、美術的価値も兼ね備えたものとなっている。さらに、製品の多様性やデザイン性の向上を図る努力も注目に値する。伝統技術を維持しながら、現代の消費者ニーズに応えるべく、新しい形状や用途を取り入れた製品が次々と開発されている。特に、IH対応製品や環境に配慮した素材開発など、時代に即した取り組みが見受けられた。



10月9日 13時～16時30分

10月10日 9時～11時

【第19回全国市議会議長会研究フォーラム】

テーマ「主権者教育の新たな展開」

・基調講演

「人口減少社会における地域の未来図」 菅義偉 第99代内閣総理大臣

・パネルディスカッション

「地方議会の課題と主権者教育」

コーディネーター 井柳美紀 静岡大学人文社会科学部法学科教授

パネリスト 土山希美枝 法政大学法学部教授、越智大貴 一般社団法人 WONDER  
BDUCATION 代表理事、渡辺嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事  
務局、遠藤 政幸 盛岡市議議長

・「主権者教育の取組報告」

河村和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授

白鳥敏明 伊那市議会前議長

諸岡 覚 四日市市議会議員（第83代議長）

服部香代 山鹿市議議長

・「八幡平市 安比高原インバウンド誘致 視察」

（主権者教育）

総務省によれば、主権者教育とは「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと」とされている。具体的には、若者や子どもたちが政治や社会問題に関心を持ち、「自分ごと」として捉え、選挙などの政治参加に主体的に取り組む態度を養う教育である。

この教育が注目されるようになった背景には、2015年に公職選挙法の改正が行われ、2016年より選挙権年齢が18歳に引き下げられたことが挙げられる。また、2023年の地方自治法改正により、地方議会の役割明確化や多様な人材の参画促進が進められている。これらの法改正を受け、主権者教育が地方議会の活性化や議員のなり手不足解消に向けた重要な施策の一つとして位置付けられている。

（フォーラム内容）

1 パネルディスカッション テーマ：「地方議会の課題と主権者教育」

コーディネーターとして井柳美紀氏が進行し、土山希美枝氏、越智大貴氏、渡辺嘉久氏、遠藤政幸氏がパネリストとして議論を展開した。議会の課題や主権者教育を通じた解決の可能性について、具体的な事例とともに多角的な視点から意見が交わされた。

2 主権者教育の取組報告 テーマ：「主権者教育の実践事例」

コーディネーター河村和徳氏の進行のもと、白鳥敏明氏、諸岡覚氏、服部香代氏が各地の主権者教育の取り組みを報告した。選挙制度、公職選挙法、模擬選挙、公民科の授業を中心に据えた学びなど、多岐にわたる事例が紹介され、現場での実践の重要性が強調された。

(主権者教育における重要な視点)

主権者教育を推進する上で、以下の重要な視点が示された

1. 「教える」ではなく「共に学ぶ」姿勢

主権者教育は、単なる知識の伝達ではなく、共に学び合う姿勢が求められる。議会として市民との対話を深め、相互理解を図ることが重要である。

2. 試行錯誤の実践

政治には「100%の正解」がないため、まずは実践してみる姿勢が大切である。市民の声に耳を傾け、必要に応じて改善を図る柔軟な対応が求められる。

3. 現場での学びの工夫

学校教育で得られる知識と、現場での体験をどう結び付けるかが課題である。模擬議会や市民との意見交換会など、議会ならではの取り組みが必要である。

10月10日11時30分～15時

(八幡平市 安比高原インバウンド誘致 視察)

八幡平市の安比高原地域におけるインバウンド誘致施策や観光事業の現状を把握し、地域振興や観光政策に活かす事例を学ぶコースであった。安比高原はインバウンド需要の高いスキースキーリゾートであり、高付加価値観光や教育旅行の推進に注力していた。視察では八幡平DMO 寺田宏社長による講演が行われ、具体的な事例や取り組みを学んだ。また、2022年8月に開校した「ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパン」を誘致し、国際教育の拠点として移住促進、住民参加のまちづくり、税収増加効果、今後の展望を聞くことができた。

インバウンド誘致の取り組みとして、安比高原はスキー観光客をSNSや現地旅行会社との連携を活用した国際プロモーション、多言語対応の強化が推進していた。一方で、国際観光回復期における需要拡大と持続可能な施策が課題となっていた。高付加価値観光事業とし、富裕層向けの高級宿泊プランや体験型観光商品を展開していた。さらに、国際教育の推進を行い、海外から子供に会いに来る両親の長期滞在先として宿泊地としてのホテル活用を行っていた。



| 調査先（主な質疑・応答内容）／ 研修（受講後の感想）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【奥州市伝統産業会館視察】</b><br/> （受講後の感想）</p> <p>視察を通じて、奥州南部鉄器の製造には高い技術力が求められ、職人の手作業による工程が大部分を占めることを理解できた。しかし、後継者不足や大量生産への対応が課題として浮かび上がっていた。一方で、デザイン性を高めた製品開発や国内外市場への展開は大きな可能性を秘めていると感じた。</p> <p><b>【第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム】</b><br/> （受講後の感想）</p> <p>今回のフォーラム参加を通じて、主権者教育が地方議会の活性化にとって極めて重要であることを再認識した。議会活動を広く市民に理解してもらうためには、教育的観点からの取り組みだけでなく、議会自身が市民とともに歩む姿勢を示すことが欠かせないと感じた。</p> <p>瀬戸市議会においても、既存の取り組みを見直し、新たな知見を取り入れながら、より開かれた議会運営を目指す必要がある。今後、議会内で議論を深め、市民の皆様に価値ある機会を提供するための働きかけを行うことの必要性を感じた。</p> <p>安比高原は、豊かな自然や高品質な観光施設、さらに「ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン」の開校による国際教育拠点化で、地域振興と観光の可能性を大きく広げていると感じた。</p>              |
| 調査・研修の成果・考察<br>（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p><b>【奥州市伝統産業会館視察】</b></p> <p>奥州市水沢の伝統産業としての鋳造物は、歴史的価値と高い技術力を持つ産業資源であり、地域文化の象徴となっていた。今回の視察を通じて、奥州南部鉄器が果たしてきた役割や、製造工程における職人技術の重要性を改めて認識した。これらの伝統技術を次世代に伝えるためには、技術継承と革新が不可欠であり、地域全体での支援が必要という課題がある。陶磁器産業・日本遺産のまちである本市でも同様の課題があり、伝統技術・産業の強みを生かし、時代に合わせた活用方法を推進する必要があると感じた。</p> <p><b>【第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム】</b><br/> （瀬戸市議会への活用可能性）</p> <p>瀬戸市議会では、市民との意見交換会「せとまちトーク」を実施している。フォーラムでの学びを踏まえ、次のような工夫が必要と感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ設定の明確化 <p>限られた時間を有効活用するため、議論の焦点を絞り、具体的かつ実現可能なテーマを設定することが重要である。</p> </li> <li>・ 応答性の向上 <p>意見を聞くだけで終わらせず、市民の声を政策や提案に反映させる仕組みを強化する必要がある。</p> </li> </ul> |

・ 若年層へのアプローチ

若い世代に関心を持ってもらうため、SNS やオンラインツールを活用し、参加のハードルを下げる工夫が求められる。

(インバウンド需要について)

瀬戸市の特色である陶磁器産業、日本遺産、小中一貫校「にじの丘学園」の教育面を活用したインバウンド施策について、以下が反映できる可能性があると感じた。

①陶磁器産業を活かす方法

- ・ 体験型観光・陶磁器制作ワークショップ・職人との交流イベント・文化的ストーリーの発信・日本遺産の物語を多言語で発信・デジタルプロモーション・陶磁器フェスティバル

＊上記国内シェアではなく国際的な関心を集めるようにしていく必要がある

②日本遺産の価値を活用する方法

- ・ 歴史探訪ツアー・多言語対応の観光ルート・伝統文化体験・宿泊施設とのコラボレーション・伝統的な陶磁器の活用

③教育を活かす方法

- ・ 教育面を活かし、教育旅行や国際交流プログラムの推進。国際教育交流プログラムや海外学校との連携・陶磁器と教育の海外交流融合・短期留学プログラム（子供に限らない）



# 行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

| 日付                          | 出発駅      | 交通手段 | 片道<br>／<br>往復 | 到着駅  | 距離           |    | 交通費      |   |        |   |
|-----------------------------|----------|------|---------------|------|--------------|----|----------|---|--------|---|
|                             |          |      |               |      |              |    | 運賃       |   | 特急料金 等 |   |
| 6<br>年<br>10<br>月<br>8<br>日 | 名古屋飛行場   | 飛行機  | 片道            | 花巻空港 | 594          | km | 38,300   | 円 |        | 円 |
|                             |          |      |               |      |              | km |          | 円 |        | 円 |
|                             |          |      |               |      |              | km |          | 円 |        | 円 |
|                             |          |      |               |      |              | km |          | 円 |        | 円 |
|                             |          |      |               |      |              | km |          | 円 |        | 円 |
| 日                           | 宿泊先名称    |      |               |      | TEL          |    | 宿泊料金     |   |        |   |
|                             | アートホテル盛岡 |      |               |      | 019-625-2131 |    | 11,000 円 |   |        |   |
| 備考欄                         |          |      |               |      |              |    |          |   |        |   |
|                             |          |      |               |      |              |    |          |   |        |   |

49,300 円

| 日付                          | 出発駅      | 交通手段 | 片道<br>／<br>往復 | 到着駅 | 距離           |    | 交通費      |   |        |   |
|-----------------------------|----------|------|---------------|-----|--------------|----|----------|---|--------|---|
|                             |          |      |               |     |              |    | 運賃       |   | 特急料金 等 |   |
| 6<br>年<br>10<br>月<br>9<br>日 |          |      |               |     |              | km |          | 円 |        | 円 |
|                             |          |      |               |     |              | km |          | 円 |        | 円 |
|                             |          |      |               |     |              | km |          | 円 |        | 円 |
|                             |          |      |               |     |              | km |          | 円 |        | 円 |
|                             |          |      |               |     |              | km |          | 円 |        | 円 |
| 日                           | 宿泊先名称    |      |               |     | TEL          |    | 宿泊料金     |   |        |   |
|                             | アートホテル盛岡 |      |               |     | 019-625-2131 |    | 11,000 円 |   |        |   |
| 備考欄                         |          |      |               |     |              |    |          |   |        |   |
|                             |          |      |               |     |              |    |          |   |        |   |

小計 11,000 円

| 日付                           | 出発駅   | 交通手段 | 片道<br>／<br>往復 | 到着駅    | 距離  |    | 交通費    |   |        |   |
|------------------------------|-------|------|---------------|--------|-----|----|--------|---|--------|---|
|                              |       |      |               |        |     |    | 運賃     |   | 特急料金 等 |   |
| 6<br>年<br>10<br>月<br>10<br>日 | 花巻空港  | 飛行機  | 片道            | 名古屋飛行場 | 594 | km | 38,300 | 円 |        | 円 |
|                              |       |      |               |        |     | km |        | 円 |        | 円 |
|                              |       |      |               |        |     | km |        | 円 |        | 円 |
|                              |       |      |               |        |     | km |        | 円 |        | 円 |
|                              |       |      |               |        |     | km |        | 円 |        | 円 |
| 日                            | 宿泊先名称 |      |               |        | TEL |    | 宿泊料金   |   |        |   |
|                              |       |      |               |        |     |    | 円      |   |        |   |
| 備考欄                          |       |      |               |        |     |    |        |   |        |   |
|                              |       |      |               |        |     |    |        |   |        |   |

バック等による割引など

小計 38,300 円

23,130 円

宿泊費 合計

交通費 合計

22,000 円

76,600 円

申請額合計  
(宿泊費+交通費-割引代)

75,470 円



行程表

|      | 日付                   | 日時                      | スケジュール               | メモ        |
|------|----------------------|-------------------------|----------------------|-----------|
| 1 日目 | 1 0 月 8 日<br>(火曜日)   | 7 : 55                  | 名古屋小牧空港              | 盛岡市内<br>泊 |
|      |                      | 9 : 30                  | 岩手花巻空港               |           |
|      |                      |                         | 奥州市へ移動               |           |
|      |                      | 13 : 00<br>～<br>15 : 00 | 奥州市伝統産業会館等 視察        |           |
|      |                      |                         | 盛岡市へ移動               |           |
| 2 日目 | 1 0 月 9 日<br>(水曜日)   | 13 : 00<br>～<br>16 : 30 | 全国市議会議長会 研究フォーラムin盛岡 | 盛岡市内<br>泊 |
| 3 日目 | 1 0 月 1 0 日<br>(木曜日) | 9 : 00<br>～<br>11 : 00  | 全国市議会議長会 研究フォーラムin盛岡 |           |
|      |                      | 11 : 30<br>～<br>15 : 00 | 八幡平市安比高原インバウンド誘致 視察  |           |
|      |                      |                         | 岩手花巻空港へ移動            |           |
|      |                      | 17 : 45                 | 岩手花巻空港               |           |
|      |                      | 19 : 00                 | 名古屋小牧空港              |           |